

◆ 包装単位・貯蔵方法・有効期間

〈体外診断用医薬品〉

| 製品名                 | セット内容                      | 製品コード  | 貯蔵方法  | 有効期間 | 適用機種例                       |
|---------------------|----------------------------|--------|-------|------|-----------------------------|
| <b>LZテスト‘栄研’ASO</b> | R1 : 20mL×2<br>R2 : 13mL×2 | G-IX23 | 2~10℃ | 1年間  | 日立7180<br>AU680<br>BM6050 他 |
|                     | R1 : 60mL×1<br>R2 : 37mL×1 | G-IX22 |       |      |                             |
|                     | R1 : 26mL×2<br>R2 : 15mL×2 | G-IX47 |       |      | 日立LABOSPECT                 |
|                     | R1 : 30mL×2<br>R2 : 18mL×2 | G-IX44 |       |      | cシリーズ                       |

〈一般品〉

(別売 キャリブレーション)

| 製品名                   | 包装単位             | 製品コード  | 貯蔵方法 | 有効期間 |
|-----------------------|------------------|--------|------|------|
| <b>LZ-ASO標準N ‘栄研’</b> | 1mL×6<br>(6段階濃度) | G-IX53 | 2~8℃ | 1年間  |

(別売 コントロール血清)

| 製品名             | 包装単位  | 製品コード  | 貯蔵方法 | 有効期間 |
|-----------------|-------|--------|------|------|
| <b>イムノピアリ®1</b> | 3mL×2 | G-XC51 | 2~8℃ | 1年間  |
| <b>イムノピアリ®2</b> | 3mL×2 | G-XC52 |      |      |

主要文献

- 1) Rantz L. A., et al. : Proc. Soc. Exp. Biol. Med., 59 : 22-24, 1945.
- 2) 金井 正光, 他 : 臨床検査法提要, 改訂第32版 : 907-910, 2005.
- 3) 社内資料
- 4) 加藤 象次郎 : 日本臨牀, 63(増刊号) : 127-136, 2005.

本試薬の使用上又は取扱い上の注意については、添付文書及び使用説明書をご参照ください。

# 抗ストレプトリジンOキット LZテスト‘栄研’ASO



## 特 徴

- ・ 本法はラテックス凝集免疫比濁法です。
- ・ 各種自動分析装置への適用が可能です。
- ・ 血漿検体での測定が可能です。
- ・ 多点液状キャリブレーションにより幅広い測定レンジを確保しています。

## はじめに

ストレプトリジンOは溶血性連鎖球菌の産生する溶血毒素です。そのため、溶血性連鎖球菌感染症の既往の証明のために抗ストレプトリジンO (Antistreptolysin O : ASO) 価の測定が広く実施されています<sup>1)</sup>。  
ASOの測定法としては、従来、ストレプトリジンOの溶血活性を応用したRantz & Randall法やストレプトリジンOとの受身間接凝集反応を応用した方法等が用いられてきましたが、近年では自動分析装置への適用が容易なラテックス凝集免疫比濁法が広く普及しています<sup>2)</sup>。  
LZテスト'栄研'ASOは、ラテックス凝集免疫比濁法に基づく血清・血漿中のASO価測定試薬です。各種自動分析装置への適用が可能ですので、日常検査での使用に適しています。

## 測定原理

本製品はラテックス凝集反応を応用し、自動分析装置に適用した光学的測定法です。  
ラテックス粒子表面にストレプトリジンOを結合させたラテックス試液と検体中のASOとが反応し、ラテックス粒子は凝集します。この反応を所定の波長における濁度変化としてとらえると、その変化量は検体中のASOの濃度に比例して増加します。  
LZテスト'栄研'ASOはこの原理を利用して、既知濃度のキャリブレータから検量線を作成し、検体中のASO価を求めます。

## 使用目的

血清又は血漿中の抗ストレプトリジンO (ASO) の測定

## 測定範囲

10 ~ 1,000 IU/mL (6ポイントによる多点検量線測定)

## 参考基準範囲<sup>3,4)</sup>

成人 : 160 IU/mL以下<sup>3)</sup>  
小児 : 250 IU/mL以下<sup>4)</sup>

## 基礎データ<sup>3)</sup>

測定機種 : 日立7170S形自動分析装置

### ◆ 同時再現性

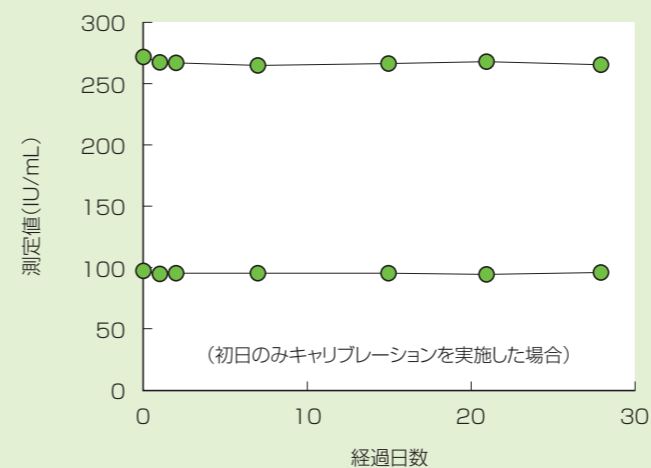
|         | 単位 : IU/mL |        |
|---------|------------|--------|
|         | 試料1        | 試料2    |
| n       | 20         | 20     |
| Mean    | 94.08      | 196.40 |
| S.D.    | 2.30       | 2.37   |
| C.V.(%) | 2.44       | 1.21   |
| Max.    | 98.5       | 200.8  |
| Min.    | 87.6       | 191.9  |
| Range   | 10.9       | 8.9    |

### ◆ 妨害物質

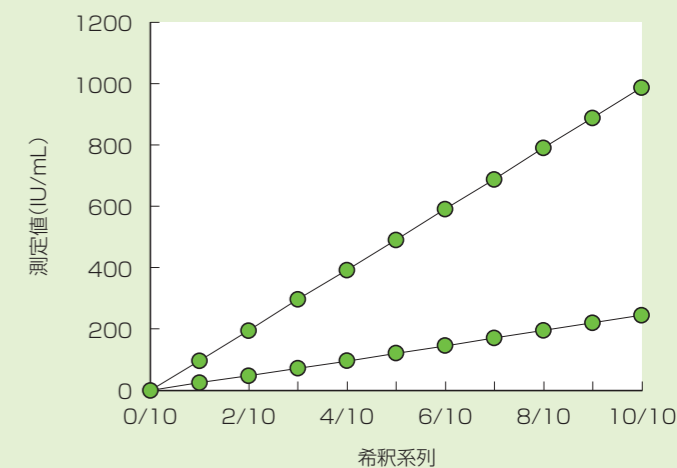
下記濃度まで測定への影響は認められませんでした。

|              |            |
|--------------|------------|
| 抱合型ビリルビン     | 20mg/dL    |
| 遊離型ビリルビン     | 20mg/dL    |
| ヘモグロビン       | 1,000mg/dL |
| アスコルビン酸      | 20mg/dL    |
| 乳ビ(イントラリピッド) | 3vol%      |
| フッ化ナトリウム     | 1,000mg/dL |
| EDTA・2Na     | 500mg/dL   |
| クエン酸ナトリウム    | 1,000mg/dL |
| ヘパリンナトリウム    | 20mg/dL    |

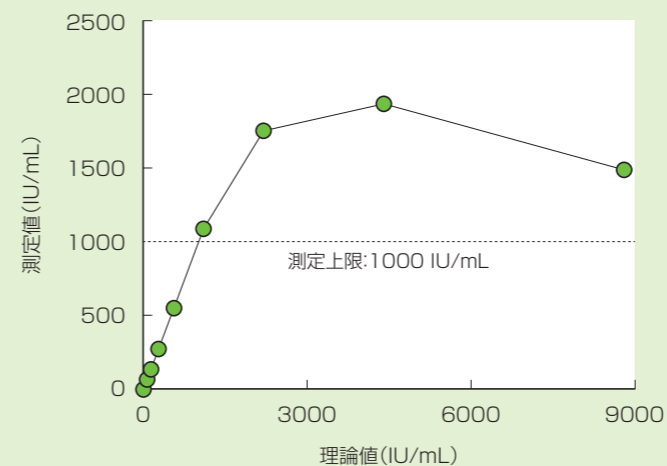
### ◆ 試薬安定性(装置内保存)



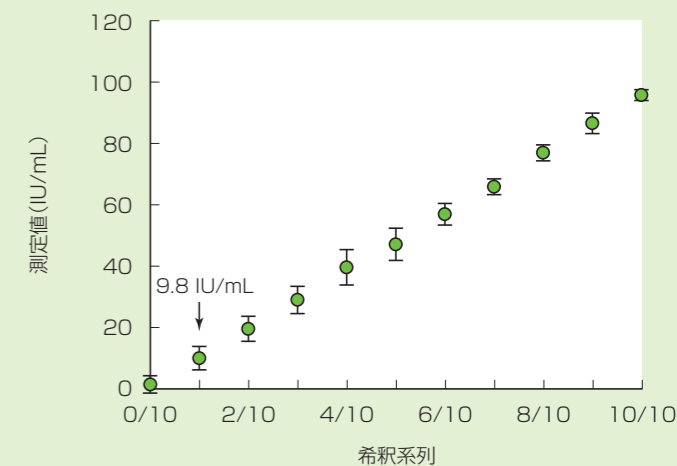
### ◆ 希釈直線性



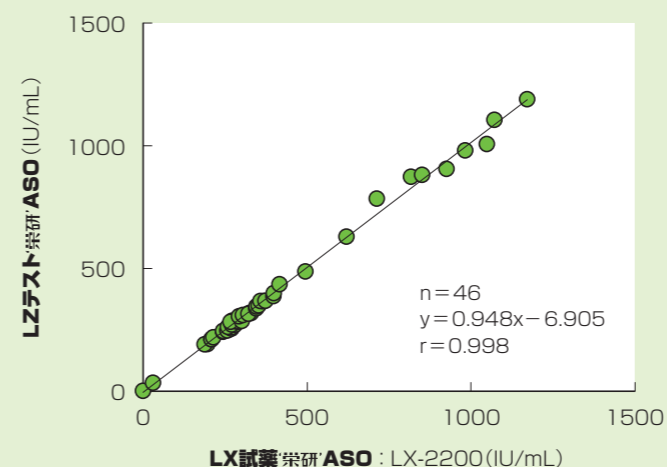
### ◆ プロゾーン



### ◆ 検出限界(2.6SD法)



### ◆ 他法との相関



### ◆ 血清検体と血漿検体の相関

